閃光「　」

「私」／それはかつてあった／「私」／アイスクリームを舐める／「私」／もう溶けてしまったのに／「私」／あなたはそこにいると信じている／「私」／あなたに見られている／「私」／私はあなたを見ていないのに／「私」／月を見上げている／「私」／違う、見上げていた／「私」／丸い月など何処にもないあれは鏡の世界まがいもの溶けないあなたは／私じゃない／私じゃない私じゃない私じゃない私私私私私私私が箱の中鏡の中世界中に私私私無数の私私私舐める舐め続ける私違うそれは私じゃない世界中に散らばるアリス
アリスアリス
明かりを消して
恥ずかしいじゃないの

ねえダーウィン
人類は進化を辿る一方じゃないの
街には死が散乱している
皆が殺し合っている（他人を勿論自分も）
私をとりかえすための言葉さえも
平面世界の中で永遠に死に続ける
それはつまり生き続けるということであり
「私」
は
永遠にあの眼鏡の中で生き続けるのでしょう
それは私ではないのにね
かつてあった流木の股の中へ吸い込まれる
私のアリス
私のアリス
私のアリス
私のアリスへ